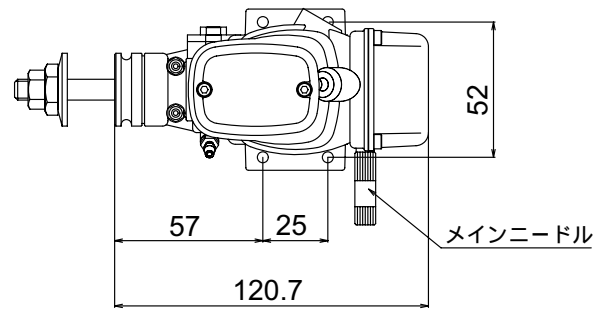


# FZ-110 取扱説明書



要目	
ボア	30.4mm
ストローク	24.8mm
行程容積	18cc
重量	730 g
実用回転数	2,000 ~ 13,000rpm

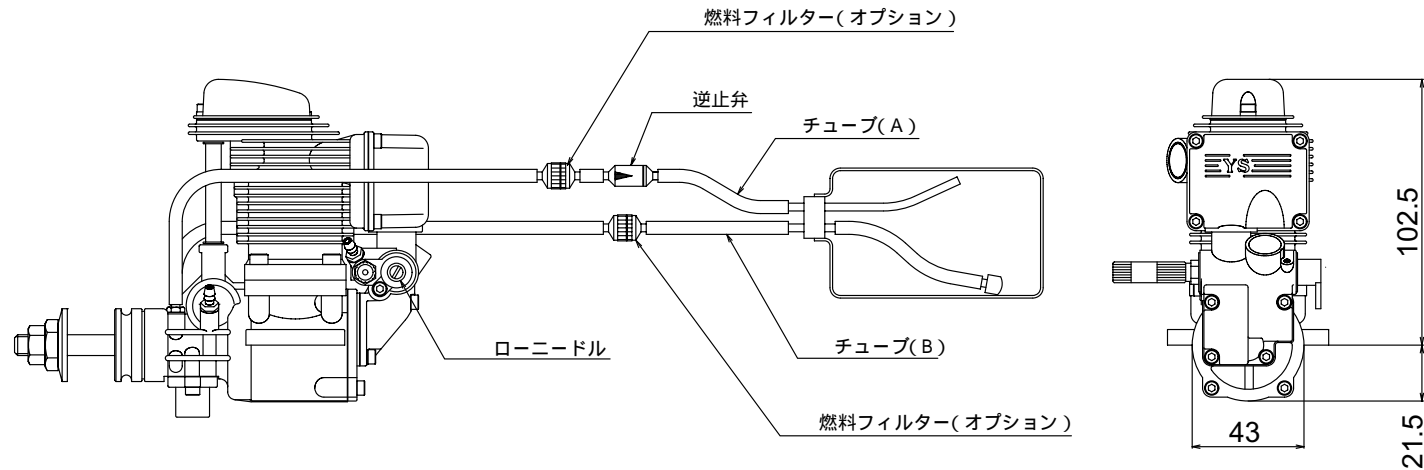


図1

## 安全運転上の注意点

必ず本説明書を熟読し下記の点を厳守して本エンジンをご使用下さい。又専門用語が数多く使用してあり、意味がよく分からないときは必ず販売店が弊社にお問い合わせください。

1. プロペラの取付けは必ず付属のプロペラナットを使用すること。
2. プロペラは、製造メーカーが強度等を保証するものを使用し、メーカーの使用方法に従うこと。
3. プロペラサイズは飛行中においても実用回転数を超えないものを選択すること。
4. 運転中は常に前方及びプロペラ回転外周方向に人のいない事を確認すること。
5. スロー状態で電動スターターを使用し始動すること。
6. 始動後はスローのままにてプロペラ後方に移動し、エンジン調整を充分行ってから飛行させること。
7. 運転中はエンジン、マフラー等付属するすべてのものが高温となります。運転中はもちろん運転後も冷えるまではそれらに触れないこと。
8. 不調の状態にては絶対飛行させないこと。
9. ラジコン模型飛行機以外には使用しないこと。ヘリコプターには使用できません。
10. エンジンを安全に使用する責任は使用者にあります。いつも注意深く使用していただくようお願いします。

## 特徴

FZ110は、Y S 独自の2大特徴を備えた飛行機専用18cc 4サイクルエンジンです。特徴その一は、クランクケース圧送式スーパーチャージ機構です。クランクケース内のポンプ作用を利用するため、後付けのコンプレッサーを必要とせず構造簡単、重量増加も最少にて、最大の効果を得ています。この機構に伴う数多くの特許を取得しています。特徴その二は、タンク

加圧式フューエルインジェクションの装備です。従来のY Sエンジン同様、タンクの搭載位置に影響なく、機体の急激な姿勢変化に対しても全く安定した回転を続けることができます。

以上、本エンジンの特徴をよくご理解の上、本説明書を熟読し正しくご使用いただければF3A スタント機からスケール、スポーツ機まで最高の性能を発揮します。

## 搭載

1. タンクへの接続は図1のとおりです。逆止弁の矢印の向きに注意してください。
2. タンクには高圧がかかります。口金をよく締め、パイプの差し込みを固くして圧が漏れないように、又チューブが屈曲しないようにしてください。
3. 噴射装置にとってゴミは大敵です。必ず図1のように2個の燃料フィルターを使用してください。

## 燃料、タンク容量

1. 燃料は、合成油脂系をご使用してください。ニトロメタンは10～30%位含んだものがよいでしょう。
2. タンク容量は、400cc程度が適当です。
3. 燃料を注入するには、まずチューブ(A)を逆止弁より外しタンクにかかっている圧力を抜きます。次にチューブ(B)よりタンクへ燃料を注入します。タンクに圧力がかかっているときに、チューブ(B)を先に外すと燃料が噴出しますので注意してください。

## グロープラグ

当社4サイクル用プラグYS # 4 (P0040)が最適です。

## プロペラ

1. プロペラの締付けは、付属の専用ダブルナットを必ず使用してください。最初に凸型のナットを付属のスパナを使用して充分なトルクで締付けます。凸型ナットの凸部が偏芯していますがこれは異常ではありません。これは凸型ナットを締付けることにより、シャフトと垂直方向に応力を発生させるため優れたロック効果を発揮します。増し締めも定期的に行い、安全運転に心がけてください。
2. スタント機の場合、地上回転数が8,000～11,000rpmになるようプロペラを選択してください。参考プロペラ:14X10 12
3. プロペラのバランスは充分にとってご使用ください。
4. 本エンジンは、飛行機専用ですのでヘリコプターには使用しないでください。

## 始動

1. 本エンジンは大型で回転力も強大ですから、始動には必ず電動スターターを使用してください。
2. タンクに燃料を注入し、メインニードル(ニードルバルブ)を2回転ほど開きます。ローニードルは1回転半開けます。
3. スロットルを全開にし、プラグに通電しないでスターターをキャブレター内に燃料が充分、来るまで回します。(状態によって違いますが大体、10秒程度です。)
4. スターターで、回すときは、まずプロペラを手で反対方向へ圧縮力が感じられるまで回しておき、スターターをスピナーに強く押し付けて一気に回転させます。
5. 燃料がキャブレターまで到達したら、スロットルを全閉の位置から少し開けた状態にしプラグに通電してスターターで始動します。
6. 始動後は、しばらくアイドルリングにて暖気運転を行い、最初に全開にする際はスロットル操作を慎重に行いノッキングをさせないようにしてください。
7. スロットルを全開にしたらニードル調整を行います。ニードルを右に回すと薄くなり、左に回すと濃くなります。なるべく濃い状態の使用をお勧めします。薄い状態で使用するとエンジンを傷めます。気象条件、燃料、プロペラ等によって異なりますが大体、1回転半開けたところになります。
8. スロットル全開にて始動しないでください。大変危険ですしエンジンを傷めます。
9. エンジン始動後は、安全のため必ずプロペラの後方でエンジン調整を行ってください。

## ブレークイン

1. 4サイクルエンジンは2サイクルに比べ吸排気弁関係など運動部分が格段に多く、これらの初期なじみを付けるため30分ほど、ブレークインを行ってください。
2. ブレークインの間は、スロットルを全開とし、回転の調整はニードルバルブにて行います。
3. ブレークインの前半は、安定した回転が続くように注意しながらニードルバルブを開けてできる限り濃い混合気に運転してください。
4. 後半はピークの一步手前までニードルバルブを絞り込み、また元へもどす調整を繰り返し、次第にピークに近い運転を長くします。
5. ブレークインが終わった後もニードルを絞り過ぎないように注意し常にやや濃いめで運転するようにしてください。

## アイドルリング調整

1. 本エンジンの調整箇所はメインニードル、ローニードル、バルブリミテッドスクリュー、タペット調整ネジです。
2. レギュレーター調整ネジは出荷時に最良の位置に調整されていますので調整の必要はありません。
3. ブレークインが済み、高速でのニードル調整ができましたらスロットルバルブをゆっくり閉めアイドルリング状態にします。
4. 安定したアイドルリング位置を見つけて、スロットルバルブがそれ以上閉まらないようバルブリミットスクリューを調整します。実際には多少、大きめにスロットルバルブが開くよう調整し、少しずつ閉じて安定して回る最低回転数のアイドルリング位置に調整するよいでしょう。
5. 安定したアイドルリング回転数は、燃料やプラグあるいは、プロペラ等によって上下しますが、大体、2,000～2,500rpmが得られます。
6. アイドリングが決まりましたら一気にフルスロットルにしてみます。

良好の場合は、問題なく滑らかに最高速まで吹きあがります。もし、プツプツともたついて濃い白煙を出しながら、なかなか回転が上がらない(燃料が濃すぎる)場合、あるいはデトネーション(異常爆発)を起こしながら回転が上がる(混合気が薄過ぎる)場合は、次の項を参考にしてローニードルの調整を行ってください。

## ローニードルの調整

本エンジンには、アイドルリングの燃料の濃さを調整するローニードルを装備しています。スロットルレバー反対側のマイナス調整部がそれです。今までのニードルをメインニードルと呼び、これは全速の調整に使用します。アイドルリング調整は必ず必要です。燃料、気候によっても調整が必要になります。

1. ローニードルを全閉状態より1回転半開けます。
2. 全速運転を行い、まずメインニードルの調整を行います。
3. 回転が徐々に上がり不安定になるときは薄い場合です。ローニードルを右に回してください。クランクケース内の圧力が上がり、濃くなります。全速に影響はありません。
4. 回転が下がりプスプスと止まるときは濃い場合です。ローニードルを左に回してください。圧力が下がり薄くなります。

## レギュレーターの調整

調整済みですから、調整の必要はありません。以前のY Sエンジンはレギュレーターにてアイドルリングの調整を行っていましたが、本エンジンではローニードルを装備していますので、そちらで調整を行ってください。

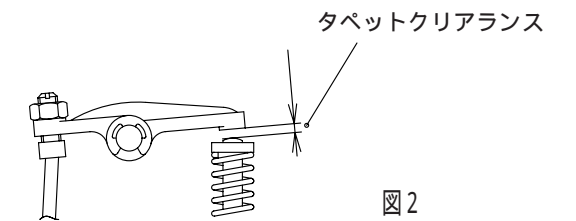


図2

## タペットクリアランスの調整

1. タペットクリアランス(図2)は出荷時に調整してありますので、最初はそのままブレークインを行ってください。
2. 運転時間がブレークインを含んで1時間ほどになると初期磨耗により多少すきまが大きくなる場合があります。その場合は下記のようにすきま調整を行ってください。
3. すきま調整は、必ずエンジンが冷えているときに行ってください。高温のときは熱膨張のためすきまが増えています。
4. ドライブワッシャーを左右に45°回し、ロッカーアームが対称に動く位置を探します。その位置から、一回転回して調整すると吸気、排気両側の調整が一度に行えます。
5. ロックナットを緩め0～0.1mmの範囲になるようにタペット調整ネジを回し、ロックナットを元どおりに閉めます。緩め終わったらもう一度確認してください。
6. 延べ10時間程度運転毎に、タペットすきまを点検、調整してください。

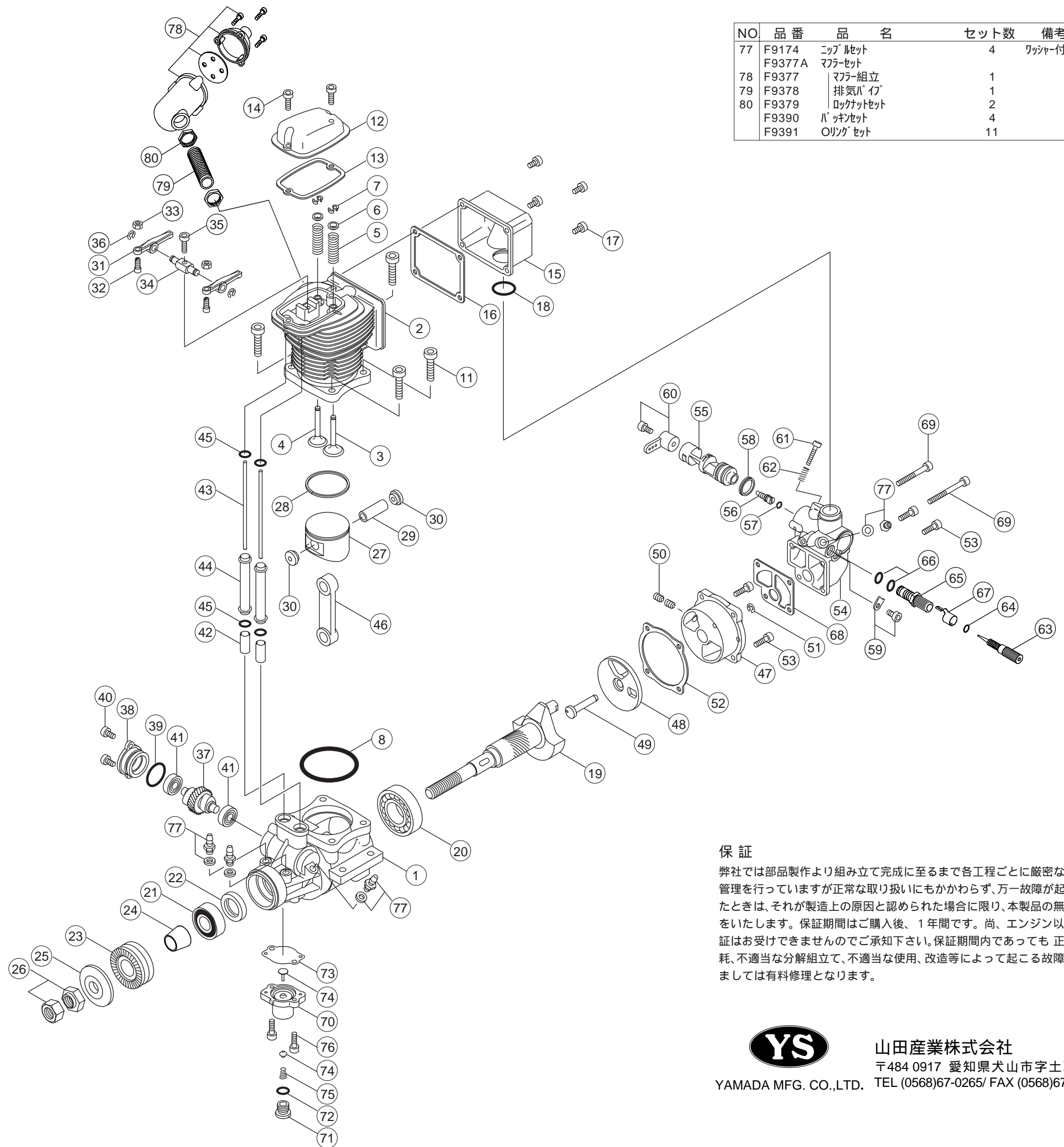
## エンジン洗浄

本エンジンは、シリコンゴムが各所に使用されていますので、洗浄にはグロウ燃料かメチルアルコールを使用してください。灯油、ガソリン、ミシン油、CRC等の防錆剤はシリコンゴムが犯されて使用不能となります。

## 補修部品及び修理

補修部品につきましては、お買い上げの模型店、もしくは弊社に直接注文してください。修理につきましても模型店にお持ちいただくか、もしくは弊社に直送ください。

NO	品番	品名	セット数	備考
1	F7101	クランクケース	1	
	F7102A	シリンダーロック組立		
2	F7102	シリンダーロック	1	ライナー付き
3	F9103	吸気バルブ	1	
4	F9104	排気バルブ	1	
5	F1209	バルブスプリング	2	
6	F9106	スプリングリテーナー	2	
7	F9107	バルブコッター	4	
8	F9208	シリンダーロックリング	1	
11	F9111	シリンダースクリー	4	
12	F9112	ヘッドカバー	1	
13	F9113	ヘッドカバーパッキン	1	
14	F9114	ヘッドカバースクリー	2	
15	F9115	エアチャンバー	1	
16	F9116	エアチャンバーパッキン	1	
17	F9117	エアチャンバースクリー	4	
18	F9118	エアチャンバーリング	1	
19	F9319	クランクシャフト	1	
20	F9120	リアベアリング	1	
21	F1240	フロントベアリング	1	
22	F9122	オイルシール	1	
23	F9323	ドライブワッシャー	1	
24	F9324	テーパーコレット	1	
25	F1266	ブローラワッシャー	1	
26	F1267	ブローラナットセット	2	
27	F1421	ピストン	1	
28	F1224	ピストンリング	1	
29	F1222	ピストンピン	1	
30	F1323	ピストンピンリテーナー	2	
31	F9131	ロッカーアーム	2	
32	F1213	クランク調整ネジ	2	
33	F1214	クランク調整ナット	2	
34	F9134	ロッカーアームシャフト	1	
35	F9135	ロッカーアームシャフトスクリー	1	
36	F1217	Eリング	2	
37	F1235	カムキヤ	1	
38	F9138	カムキヤカバー	1	
39	F1233	カムキヤカバーリング	1	
40	F9140	カムキヤスクリー	2	
41	F1242	カムキヤベアリング	2	
42	F1236	カムフォロア	2	
43	F9143	ブッシュロッド	2	
44	F9144	ブッシュロッドカバー	2	
45	F1239	ブッシュロッドカバーリング	4	
46	F9146	コンロッド	1	
47	F9147A	リヤカバー組立		
	F9147	リヤカバー	1	単品なし
	F9148	ディスクバルブ	1	単品なし
49	F9149	ディスクバルブピン	1	
50	F1229	ディスクバルブセットネジ	1	
51	F9151	ディスクバルブEリング	1	
52	F9152	リヤカバーパッキン	1	
53	F9153	リヤカバースクリー	4	
	F9354A	キャブレター組立		
	F9354	キャブレターボディ	1	
	F9355	スロットバルブ	1	
	F9156	ローニードル	1	
	F9157	ローニードルリング	1	
58	F9358	シールリング	1	
59	R6124	スロットバルブリテーナー	1	セットスクリー付
60	F1260S	スロットバルブセット	1	セットスクリー付
61	F1258	バルブリミットスクリー	1	
62	F1259	バルブリミットスプリング	1	
	F1545S	ニードルセット		
	F1545	ニードルバルブ	1	
	F1546	ニードルバルブリング	1	
	F1555	ニードルソケット	1	
	F1256	ニードルソケットリング	2	
67	F1557	ニードルストップ	1	
68	F9164	キャブレターパッキン	1	
69	F9165	キャブレタースクリー	2	
	F9166A	レキュレター組立		
	F9166	レキュレターボディ	1	
	F1245	レキュレター調整ネジ	1	
	F1246	レキュレター調整ネジリング	1	
	F9169	ダイヤフラム	1	
	F1248	レキュレターバルブ	1	
	F1249	レキュレターバルブスプリング	1	
	F1251	レキュレタースクリー	2	



NO	品番	品名	セット数	備考
77	F9174	ニードルセット	4	ワッシャー付
	F9377A	マフラーセット		
78	F9377	マフラー組立	1	
79	F9378	排気パイプ	1	
80	F9379	ロックナットセット	2	
	F9390	パッキンセット	4	
	F9391	リングセット	11	

**保証**  
 弊社では部品製作より組み立て完成に至るまで各工程ごとに厳密な検査と管理を行っていますが正常な取り扱いにもかかわらず、万一故障が起きたときは、それが製造上の原因と認められた場合に限り、本製品の無償修理をいたします。保証期間はご購入後、1年間です。尚、エンジン以外の保証はお受けできませんのでご承知下さい。保証期間内であっても正常な摩耗、不適当な分解組立て、不適当な使用、改造等によって起こる故障につきましては有料修理となります。

**YS** 山田産業株式会社  
 〒484 0917 愛知県犬山市字土取67  
 YAMADA MFG. CO.,LTD. TEL (0568)67-0265/ FAX (0568)67-7801